

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 2 3 0	受 理 年 月 日	令 和 5 年 2 月 10 日
件 名	教育に係る保護者負担の軽減		
要 旨	<p>コロナウイルス感染が長期化することで、経済的な格差は広がりをもっと大きくし、家庭生活の困窮と子供の貧困をより深刻なものにしている。また、30年余り労働者の賃金は停滞し続けているうえに、世界的な情勢不安によって物価やエネルギー資源は高騰し、人々の生活は一層苦しいものとなっている。</p> <p>さらに、文部科学省の2021年度子供の学習費調査によると、幼稚園に3歳で入園して高校を卒業するまでの15年間、全て私立に通わせた場合の学習費（授業料や学習塾費など）の総額と全て公立の場合の総額が共に過去最高となったことが分かった。このような状況の中では、保護者にとって安心して子育てができるよう、給食費や教材費、修学旅行費など学校教育に係る保護者負担を軽減することが求められている。</p> <p>公立高校において、個人負担で購入するタブレット端末は、入学金や授業料と比べてみても高価なものである。また、アルバイトで大学の学費を工面する大学生が食費を切り詰めたり、アルバイト先がなくなって退学したりする問題もあり、高校や大学に通うための費用についても、給付型奨学金のような公的な援助措置が必要となっている。</p> <p>私たちは、将来の日本を背負う全ての子供の命が大切にされ、安心して学べる教育環境を望む。京都市独自に予算を確保し、子供たちの教育に係る保護者の負担を軽減するよう以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小学校の給食費を無償化すること。 2 タブレット端末購入費は全額公費で導入すること。 3 就学援助の所得基準を改善し、対象費目・支給額を拡大すること。 4 希望する全ての高校生・大学生が給付制奨学金を受けられるように市独自で措置すること。 <p>なお、本請願について、1,124筆の署名を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	河合ようこ、くらた共子、ほり 信子、鈴木とよこ		
付 託 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		